

平成26年度 三戸郡小学校視聴覚教育研究会 研究計画

平成26年5月2日
三戸郡視聴覚研究会
研究部部長 大川 英智

1 研究主題

学習効果を高め、基礎・基本の確かな定着を図るためのICT活用の研究

2 主題設定の理由

学習指導要領の総則では、「情報教育」及び「教科指導におけるICT活用」の充実が述べられている。特に「基礎的・基本的な知識・技能を習得させるとともに、それらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を育成し、主体的に学習に取り組む態度を養うためには、児童がコンピュータや情報通信ネットワーク等の情報手段を適切に活用できるようにすることが重要である。また、教師がこれらの情報手段や視聴覚教材、教育機器などの教材・教具を適切に活用することが重要である。」とある。

ICTの活用には、「学習指導の準備と評価のための教師によるICT活用」、「授業での教師によるICT活用」、「児童によるICT活用」の3つが挙げられるが、本研究会ではこれまでの授業研究において、主に教師が授業のねらいを実現するためのICT機器の効果的な活用を図ってきた。

これまで、日常の授業で実践できるよう、とりわけ実物投影機やプロジェクターといった簡易な機器の活用に重点を置いて研究を続けてきた。その結果、ICT活用の目的を明確にもち、何をどのようにどれくらい見せるかを工夫することで、学習効果が高まることが成果として明らかになってきている。さらに、昨年度の授業実践や研修会においてフラッシュ型教材へも取り組み、学習の定着のためのICT活用の有効性や工夫についても、今後研究すべき点として確認された。

上記のICT活用を踏まえ、その効果的な活用について、教科指導のなかで「基礎基本の定着を図る」ことに重点を置き、さらに研究を深めていきたい。

3 研究目標

基礎基本の確かな定着を図るため、学習意欲を高めたり、知識や技能を身につけさせたりするICTの効果的な活用を、授業実践を通して明らかにする。

4 研究仮説

学習指導の中の発問や指示等において、ICTの特性を踏まえ、活用を工夫していくことにより、より効果的に学習意欲を高めたり、知識や技能を身につけさせたりすることができる。

5 研究内容

主に、以下について授業計画及び授業実践、研修会を行う。

- ・指導の意図を明確したICT活用と発問・指示等の吟味。
- ・ICTの特性の理解と、活用による効果の検証。